



図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて！図書館（レファレンス）

Q かき氷のシロップを手づくりしたいな♪

A はい、こちらの本はいかがでしょう♪フルーツや紅茶、抹茶のシロップもありますよ。盛り付け方も参考にどうぞ。スイカでびっくり！パーティーかき氷もお試ください。（お腹を冷やさないうご注意くださいネ。）



『人気店に教わる
極上かき氷』

柗出版社

レファレンスとは情報や本などを探そう手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

	『リバーズ』 湊 かなえ／著 講談社
	『関ヶ原・敗者たちの勝算と誤算（大活字）』上・下 武光 誠／著 大活字
	『海の美しい無脊椎動物』 スーザン・ミドルトン／著、武田正倫／ 監修、堀口容子／訳 グラフィック社
	『パセリ食堂』 枝元なほみ／著 PHP 研究所
	『ウサイン・ボルト自伝』 ウサイン・ボルト／著 生島 淳／訳 集英社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

水族たちのうらやましい機能

■人になくて水族にある機能

水中の生き物が持っているもので、我々ヒトは持つていない体の機能や構造というものがある、ということに水族館を歩いているとふと思いつくことがあります。わかりやすい例でいうとカニのように手がハサミだったら床屋へ行かなくて済むな、とかいうあまり複雑ではない身近な簡単なことで、考えてみるとかなりあることがわかります。

■外見に見た場合

水族館の魚を一通り見て、外見のなものでうらやましいな、と思つたのは「コバンザメの吸盤」で、あれは背中のはしれが変化したものです。あのような器官で好きな人などにくつついていたら幸せだらくでいい。本人の意思でないとがすることはできない。しかしそういう行為を人間界ではストーカーというのですな。そういう人に對抗するために「ハリセンボン」の体の機能は採用できる。
前述のカニのハサミで言うと、タカアシガニのハサミなんかは明



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

■暮らしぶりで見えた場合

生感（暮らしぶり）でうらやましいのは「ダルマオコゼ」のような「獲物の待ち伏せ型」の生活様式で、朝早く起きて仕事に行かなくてもいい。海の底で毎日毎日ジツと岩のようにしており、たまに通りがかる獲物を食べればいい。しかしその人生は面白いのかは、はなはだ疑問である。

■機能で見えた場合

機能として一番欲しいのは「サメの歯」であった。生涯生え変わる。虫歯ゼロ。歯医者さん泣かせ。悪くなったり古くなったら自動的に抜け落ちる。常に鋭く、切れ味抜群。折れてもすぐに生え変わる。コバンザメ化した人が張り付いてきてもすぐに撃退できる。

らかに大きすぎてジャマそうだし重たそうである。本人（本カニ）もなんだか「困っているんですよ、実際」というような顔をしている。タコの腕は8本もあるから便利そう。こちらの腕でテレビのリモコン、こちらの腕でお茶碗、こちらは本を持ち、こちらはパソコンを打つ、何が何だか自分でもわからなくなってしまう。

チヨウチンアンコウはオスがメスに噛みつき、メスから養分をもらい最終的にはオスは生殖器官を残してメスの一部となってしまう。ヒモ生活というやつだがうらやましいのやら情けないのやら。うらやましいのかそうでもないのか意見が分かれるものに心臓も脳もないクラゲがある。海を無思考でフワフワ。楽そうだが考えつめるとなんだか悲しく切なくなる。